

丹江家屋敷

サツキよ
いくつになつた

三十路に
なりました

ふんっ

当家は
剣技を以つて
殿にお仕え
しているとは
いえ…

十数年も
諸国を放浪
などと

跡取りの
男子がない
というに
縁談の話にも
意に返さず

同当主
丹江兼続

おんな道中まぐわい旅

孕み侍01

格闘王国



その歳に
なつては
縁談の話も
さっぱりじゃ

.....



下賤の者の
ために剣技を
振るうなど...



代々続いた
丹家も
終いじゃな...

お前の顔など
見とうないわつ
二度と敷居を
跨ぐで無い

勘当じゃ

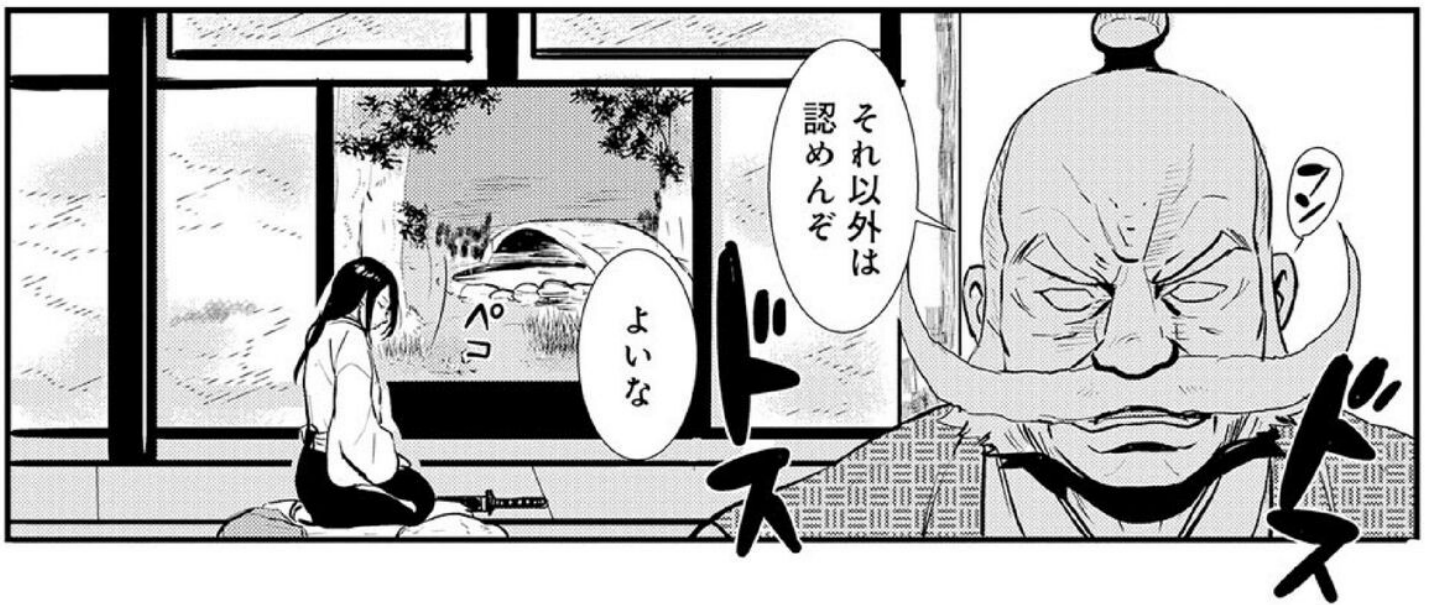


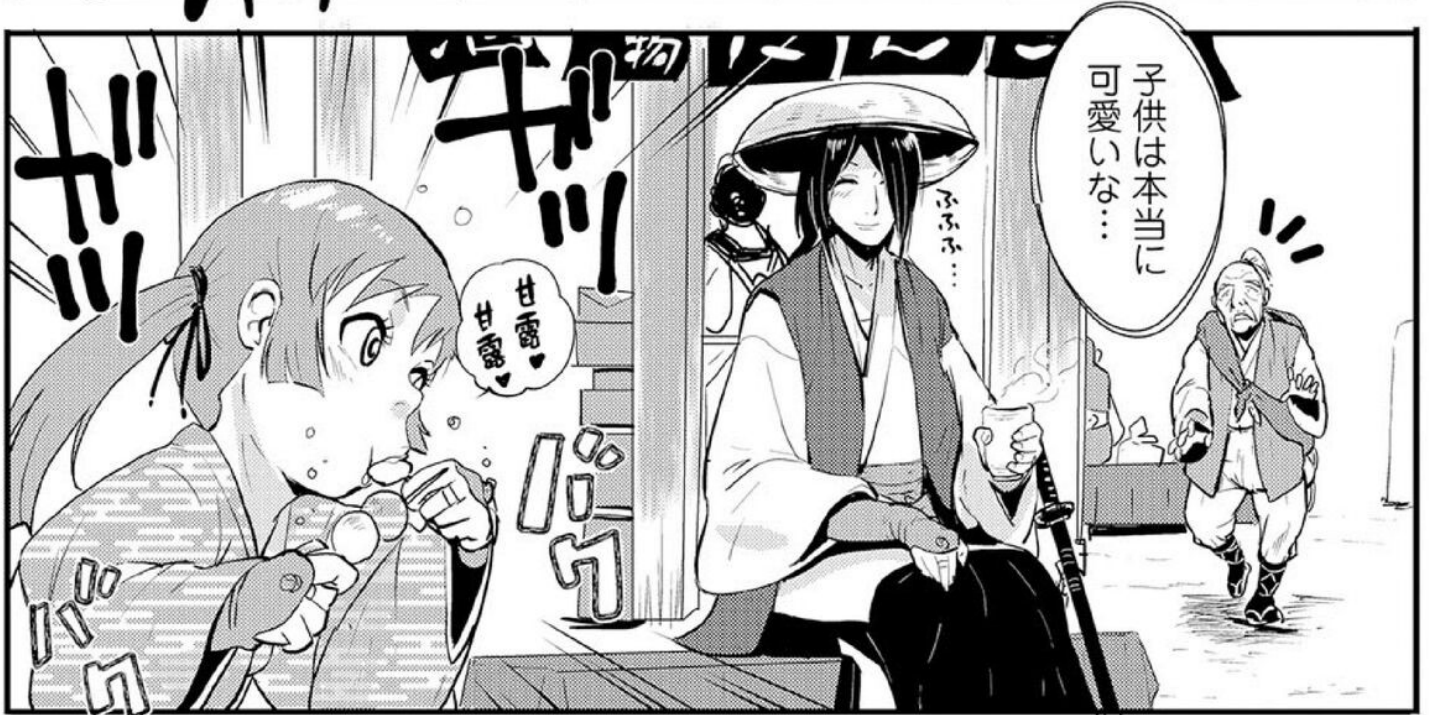
赦しが
欲しければ

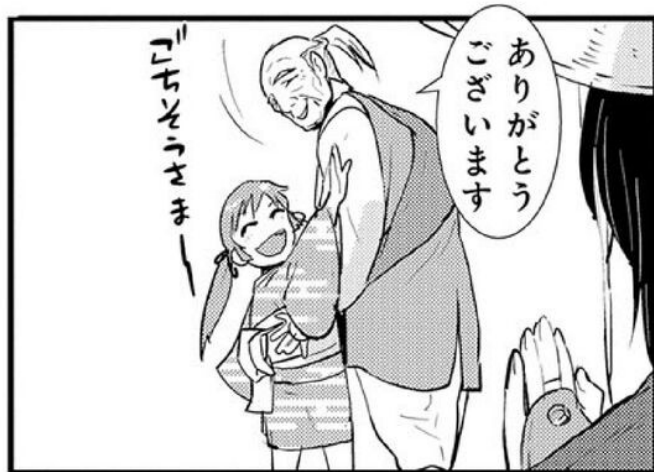
世継ぎとなる
最強の剣士の
子を孕め

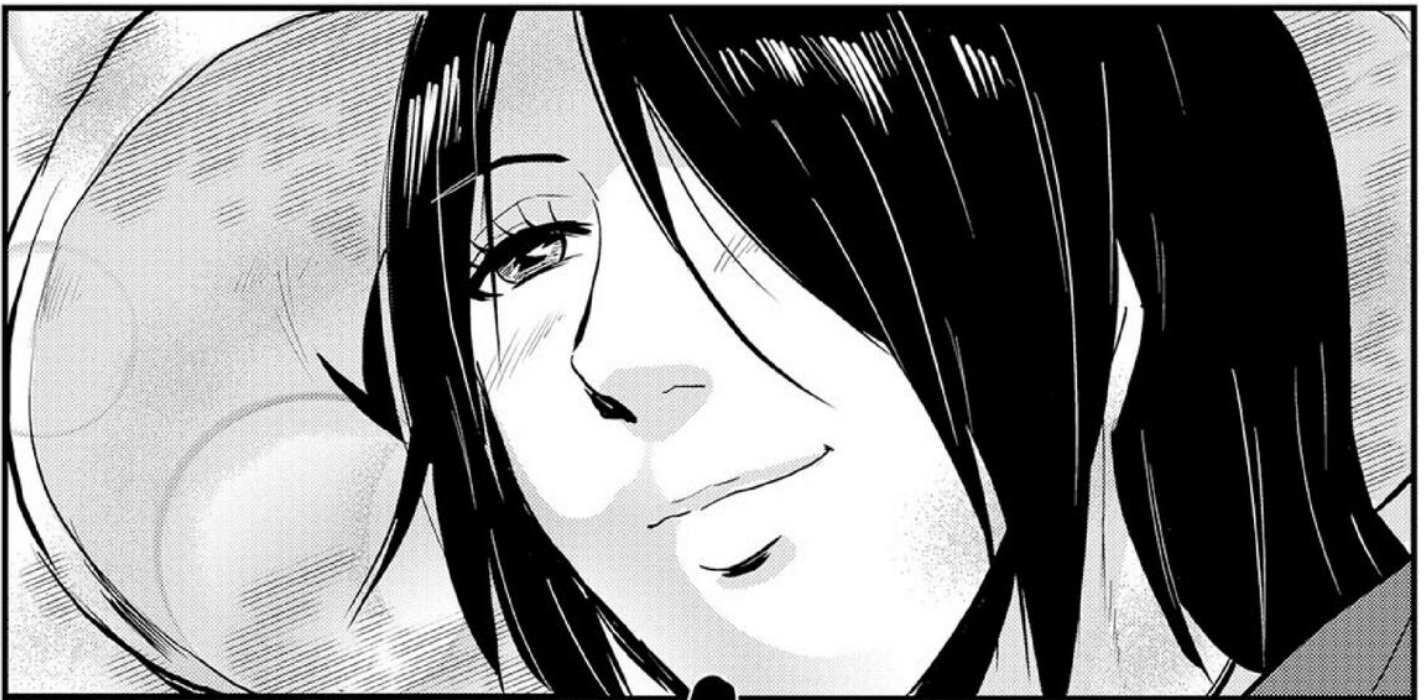


早々に
立ち去れ











やめろっ
その娘を
放せ

く、来るな
てめえ侍だろ
近づいたら
バツサリなんて
ごめんだぜ

この娘は
金持ちに違いねえ
さっき団子屋で
見てたからな



親からガツポリ
金をせしめて
やるんだっ

助けてー

わかった
刀を渡す…

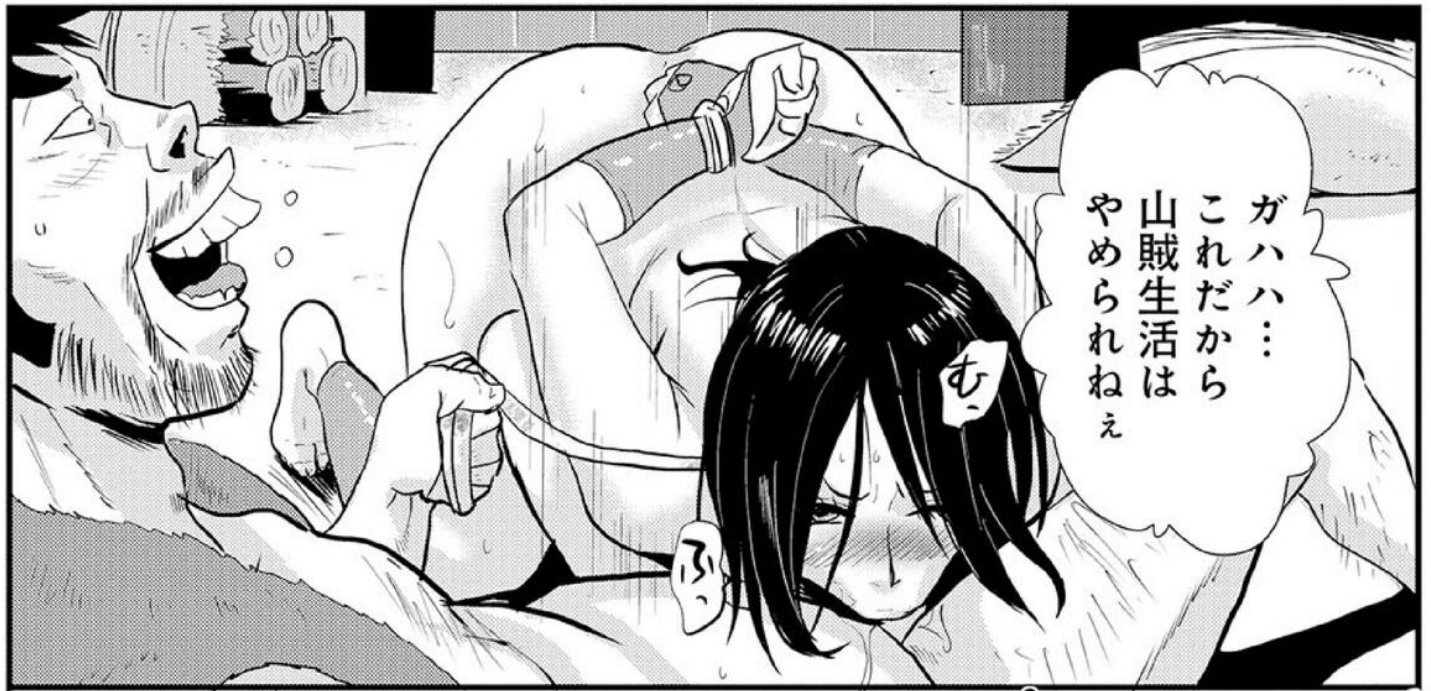
邪魔するんじゃねえ

着物も
脱いで
もらおうか







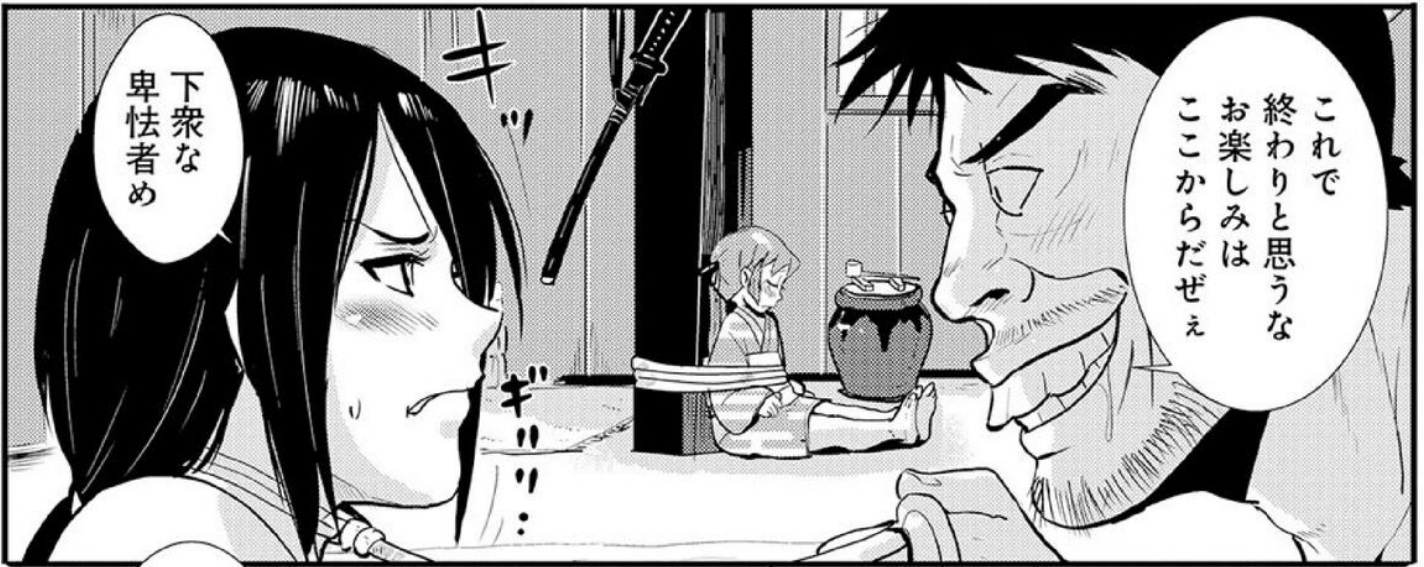




優先すべきは
あの娘のこと



悔しいが
今はこいつの
言いなりに
なるしかない



これで
終わりと思うな
お楽しみは
ここからだぜえ

下衆な
卑怯者め

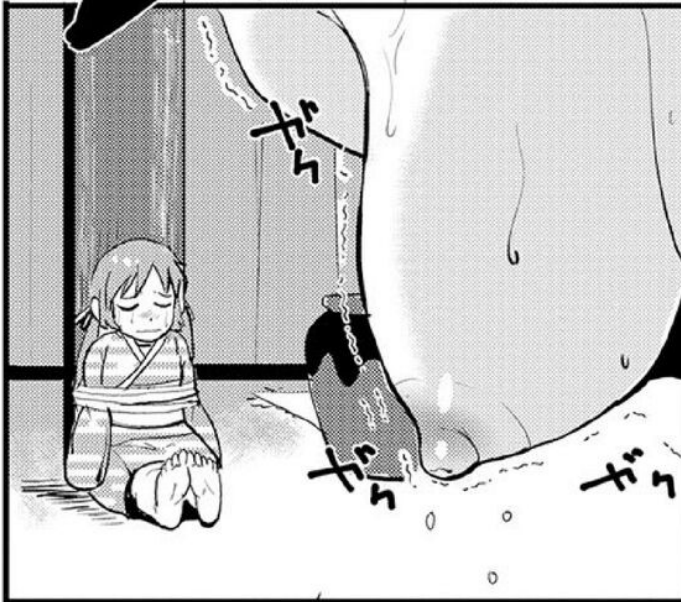


こちとら
それで生き残って
きたのよ

やっとうじや
とても敵わねえ
からな



具合は
どうか
かな
くくく...



今まで
いろんな女を
犯してきたが

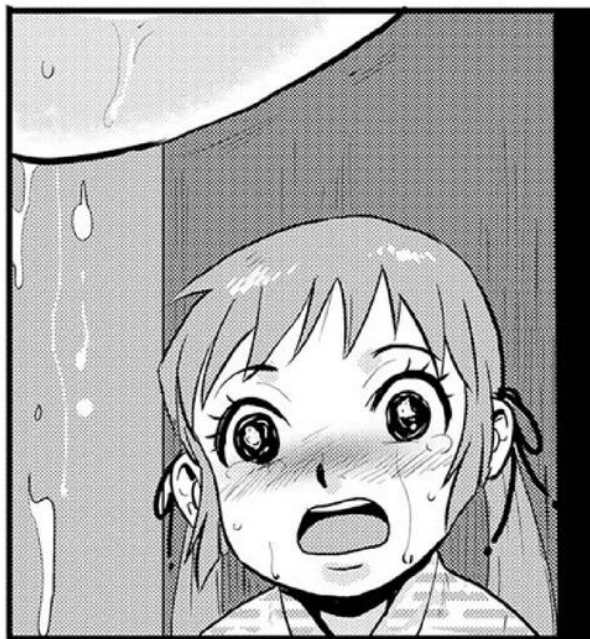
侍は初めてだな



ほれっ
一番奥まで
挿入ったぜっ

うぐうっ







さすが剣士様
鍛えられて
良い身体だぜ



女郎屋にでも
売り払って
やろうかと
思ったがやめた





剣士様は
締まりも
最高だぜえ

このまま
ぶちまけて
オレのガキ
孕ましてやるっ



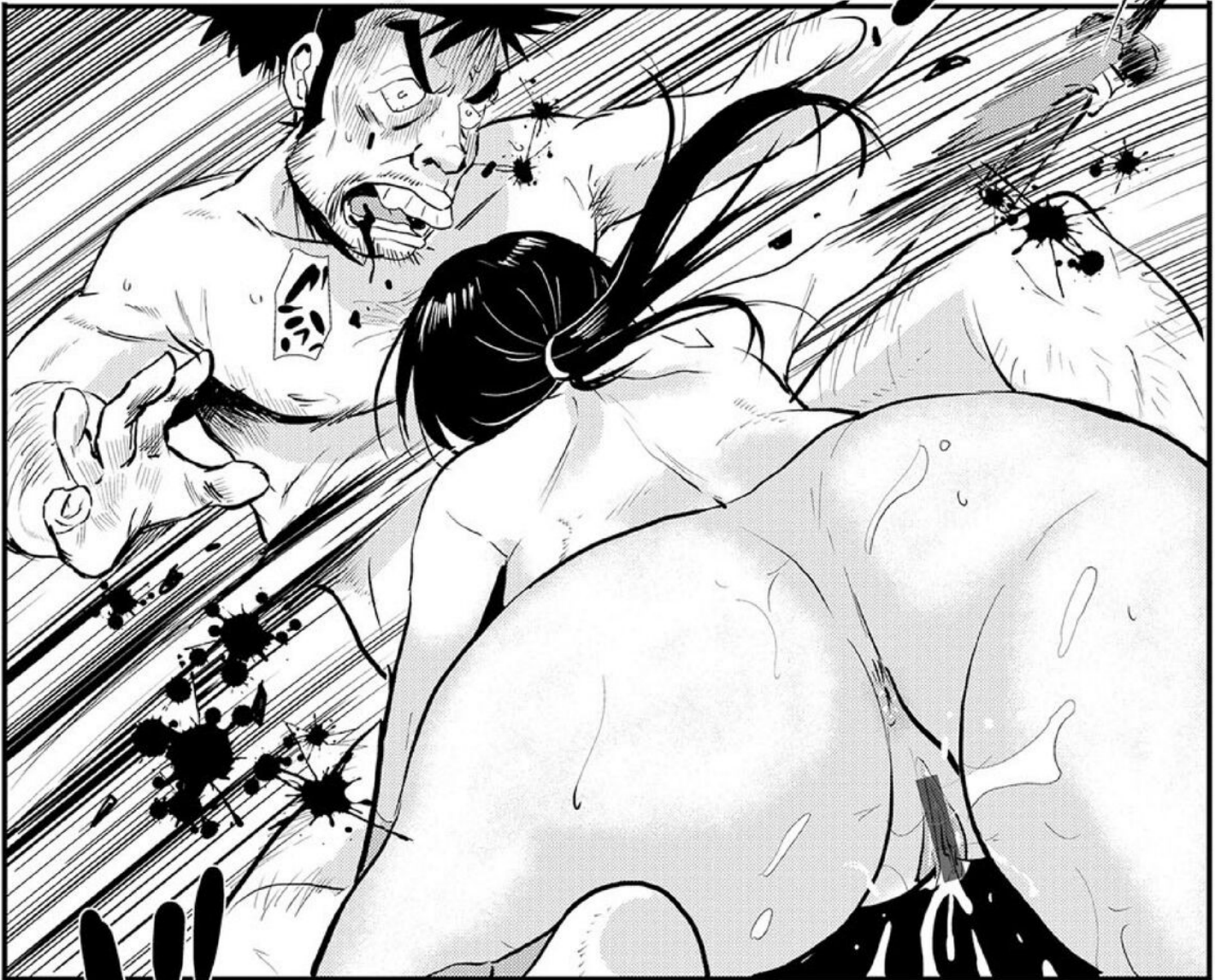
こんな男の
子を孕むなど
いや…だ…



こんな所で
帰参の望みを
絶たれてなる
ものか…

まじっ…





あの娘を
親御さんに
届けねば
ならんな...

はあ

はあ

はあ

つづく...